

公開シンポジウム

みらいへのおくりものーいのちの力

命・医農地



人間の命の源は健全な食であり、その食を支えるのは農業であり、農業を支えるのは大地(土壌)です。その土壌と農業、健康な生き方と日本型食生活に焦点を当て、医・食・農の連携による健康向上と農業の活性化について考えます。

基調講演① いのちの力“引き出す生き方”～食事と心の掃除で病気が治る～

がんのような“人間まるごとの病気”には、人間まるごとの医学が必要です。その人の人生観や生き方が、「いのちの力」を引き出す呼び水になります。病気にならないために、過度の精神的ストレスを取り除くことや、食物を通して生命エネルギーを高めることなどについてお話しします。

帯津 良一氏

日本ホリスティック医学協会名誉会長
日本ホメオパシー医学会理事長



基調講演② 土の力“18cmの奇跡”～土壌が支える人の健康～

生き物はすべて、土壌の肥沃度に応じて、健康になるか不健康になるか分かります。土壌は私たちと共に生きている生きものです。故に人は自然生態系から独立して生きることができないということを理解し、土壌を保全することが、人類の大きな課題であることについて理解を深めます。

みなみ かつ ゆき
陽 捷行氏

北里大学名誉教授 農学博士
(公財)農業・環境・健康研究所副理事長



ビデオメッセージ 土は宇宙からの言葉

毎日の生活が、自然農法産の米と大豆からの味噌、醤油で守られているという辰巳芳子先生。50年前から日本の食糧の質と量を気にかけてきた辰巳先生からの、自然農法と食に寄せる熱いメッセージをお届けします。

辰巳 芳子氏

料理研究家・随筆家



©文化出版局 ミセス編集部

パネルディスカッション

パネリスト：帯津良一氏、陽捷行氏、

福島徹氏(株)福島屋代表取締役会長)、上野秀人氏(愛媛大学農学部教授)

コーディネーター：岩石真嗣((公財)自然農法国際研究開発センター)



福島 徹氏



上野 秀人氏

2016年 2月 27日(土)
13:00～16:30 (開場 12:00)

なかのZERO大ホール
東京都中野区中野2-9-7

参加費 無料
(お申込締切：2月24日)

主催：公益財団法人自然農法国際研究開発センター

後援：農林水産省、一般社団法人日本土壌肥料学会、公益財団法人農業・環境・健康研究所、日本有機農業学会、NPO法人日本有機農業研究会、NPO法人全国有機農業推進協議会、NPO法人有機農業参入促進協議会、NPO法人日本ホリスティック医学協会、NPO法人統合医療利用者ネットワーク、NPO法人関東EM普及協会、有機JAS登録認定機関協議会、あいち有機農業推進ネットワーク(順不同)

お問い合わせ

(公財)自然農法国際研究開発センター
TEL. 0263-91-1011

ーお陰様で財団設立 30 周年ー

■スケジュール

- 12:00 開場・受付開始
- 13:00 開会挨拶・来賓挨拶
- 13:20 基調講演① 帯津 良一氏
いのちの力“引き出す生き方”～食事と心の掃除で病気が治る～
- 基調講演② 陽 捷行氏
土の力“18cmの奇跡”～土壌を支える人の健康～
- 14:50 休憩
- 15:10 ビデオメッセージ 辰巳 芳子氏
土は宇宙からの言葉
- 15:20 パネルディスカッション
みらいへのおくりものーいのち(命・医農地)の力
パネリスト：帯津良一氏、陽捷行氏、福島徹氏、上野秀人氏
コーディネーター：岩石真嗣(自然農法センター)
- 16:30 閉会

■なかのZERO へのアクセス方法



J R中央線 中野駅(南口)より徒歩8分
東京メトロ東西線 中野駅(南口)より徒歩8分
※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関でお越しください。

■出演者プロフィール

おびつ りょういち
帯津 良一氏

医学博士、帯津三敬病院名誉院長。西洋医学に、中国医学やホメオパシーなどの代替療法を取り入れるなどホリスティック医学の第一人者で、講演や講義なども多く行っている。

みなみ かつゆき
陽 捷行氏

独立行政法人農業環境技術研究所所長、同研究所理事長、北里大学副学長など歴任。環境庁長官賞など多数受賞。IPCC・ゴア副大統領ノーベル平和賞受賞に対し感謝状を受ける。

たつみ よしこ
辰巳 芳子氏

良い食材を伝える会会長、確かな味を作る会最高顧問、大豆100粒運動を支える会会長。自然風土の恵みである食材への深い愛情を込め、本物の食を追求し続けている。

ふくしま とおる
福島 徹氏

株式会社ユナイト代表取締役社長。生販一体型のビジネススタイル(三方良し)を信条にMDを追求している。その手法が、各種メディアに取り上げられ注目されている。

うえの ひでと
上野 秀人氏

農学博士、公益財団法人自然農法国際研究開発センター理事。省資源、省エネルギー、省力的で環境保全機能の高い持続型農業技術の開発および評価に取り組んでいる。

■お申し込み方法

インター
ネット

<http://www.infrc.or.jp/>

自然農法センター 🔍 検索



左記ホームページのシンポジウム案内ページまたはQRコードからお申し込みください。

FAXで

FAX 送信先 0263-92-6880

申込欄にご記入の上、左記FAX番号宛にご送信ください。

郵送で

390-1401 長野県松本市波田5632番地1
(公財) 自然農法国際研究開発センター

申込欄にご記入の上、左記住所宛にご郵送ください。

申込欄

2016年2月24日(水) 締切

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

フリガナ			
氏名 (代表者名)		参加人数 (代表者含む)	名
住所	〒		
連絡のとれる 電話番号	FAX 番号		
団体名	メールアドレス	@	

「申込受付完了のお知らせ」をお送りしますので、FAX 番号・メールアドレスのいずれかを必ずお書きください。

ご記入いただいた情報は、本シンポジウムの開催のためのみに使用させていただきます。